



あの人

この人



元小学校教諭。44歳で職を離れた後、趣味でパッチワークや絵画の教室に通った。「現場復帰」は2020年。サポートスタッフとして同校に勤務したのを機に、授業準備など教員の業務を手伝いながら、身につけた特技を生かして掲示物

と目を細める。

教員の業務を手助けするスクールサポートスタッフとして、高松市の鶴尾小学校に務める植松幸子さん(64)＝同市松並町＝。児童や教職員らを楽しませようと、自身が制作した絵画や立体作品などを校内に展示しており、「作品を楽しみ、ほっこりしてもらえれば」と目を細める。



作品の前で教育への思いを語る植松さん

掲示物で児童ら元気に

制作に取り組んできた。作品は、熱中症予防などの啓発メッセージを込めたものから、学校生活の一面を切り取ったものまでさまざま。大半は同校の児童がモデルで、目にした児童も教職員も元気になれるよう、明るい色使いとユーモアを織り交ぜた作品作りで心を砕いている。

新型コロナウイルスの影響で臨時休校になっていた着任時とは異なり、学校現場にはコロナ前の活気が戻りつつある。「求められた仕事を迅速にこなしつつ、児童たちに役立つ作品作りに挑戦してみたい」。創作意欲はまだまだ尽きない。

制作に取り組んできた。作品は、熱中症予防などの啓発メッセージを込めたものから、学校生活の一面を切り取ったものまでさまざま。大半は同校の児童がモデルで、目にした児童も教職員も元気になれるよう、明るい色使いとユーモアを織り交ぜた作品作りで心を砕いている。